

ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R6年 11月号



「みんなあつまれ」オンライン交流

小中学校難聴特別支援学級に在籍する児童生徒向けに「みんなあつまれ」オンライン交流会を行いました。県内の小中学校難聴特別支援学級11校から20名の児童生徒に参加していただきました。

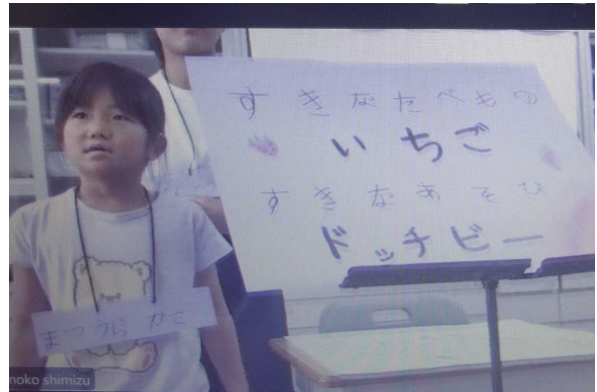
交流会では、オンラインで繋げた難聴特別支援学級の児童生徒に向けて、聾学校での授業の様子を紹介や、児童生徒同士の交流を行いました。今回参加していただいた児童生徒や先生方からの感想を一部ご紹介します。

【児童生徒からの感想】

- ・聾学校の生活や授業の様子がよく分かりました。
- ・楽しかったです。また機会があったら、オンライン交流会をやりたいです。
- ・いろんな小学校の友達の事を知れて良かったです。またやりたいです。
- ・みんなとまた、交流ができて嬉しかったです。岐阜聾学校の授業を見て、頑張っているところを見て、すごいなと思いました。もっとみんなの事を知りたいです！

【先生方からの感想】

- ・子どもたちも私も、とても楽しみにしていました。これからも定期的に繋がっていったら嬉しいです。
- ・子どもたちは遠くの人と話ができてよかったと喜んでいました。
- ・授業の様子を見せていただく中で、少人数ならではの良さや難聴学級とは違った感じ方があることを生徒と再確認することができました。
(原文のまま)



オンライン交流会に向けて、それぞれの難聴特別支援学級では事前に、自己紹介などの準備をしていただきました。子どもたちは、初めてのことに緊張しつつも、話すことを決めたり、紙に書いて練習したりしながら交流会を楽しみにしてくれていたようです。当日は、どの子どもも練習した成果を発揮して、堂々と発表ができました。また、『画面に映る聾学校の友達や授業の様子を見て「この子知ってる!」「片方だけ補聴器なんだね」「手話使ってる!」「教室広いね」などと話しながら興味深そうに参加していた』という嬉しい声もいただきました。

難聴特別支援学級の子どもたちは、きこえにくさを有する仲間が周りに少ないため、互いに交流する機会が限られています。参加してくれた児童生徒からは、「もっといろいろな教室や授業の様子を見たい」「どんな部活があるか見たい」といった前向きな意見が多く、地域で学ぶ聴覚障がい児同士で交流の場をもつ大切さやその意義を改めて感じました。

今回の交流会が、自分の経験や気持ちを共有し、友達のことや自分自身のことをさらに知ろうとするきっかけになることを願っています。

12月 ほちょうそうだん 補聴相談の予定

* ナショナル補聴器センター… 12月4日、18日(毎月第1・3水曜日)

* 理研産業 … 12月11日 (毎月第2水曜日)

場所:本館1階 補聴相談室

時間:13時30分~相談が終わり次第終了

※イヤモールド作製、補聴器の不具合などの相談は、業者来校日の前に、担任を通じて各部の補聴相談係への連絡後、申し込み用紙の提出をお願いします。